

# HIDE'S NEWS

2024.08

守谷市議会議員

わたなべ 秀一

市政報告紙 2024年8月号

価値のある  
守谷市を  
次世代に!!

ひでかず



## わたなべ秀一の市議会での政策提言！ 令和6年6月一般質問

### ① 暴走バイクの騒音対策について

！ 市内に192台設置の防犯カメラを今後は暴走バイクの取り締りにも活用していただきたいと要望しました。

現状の守谷市ではゲリラ的な暴走行為の取り締まりが困難。以前に比べ暴走族は減少しているが、騒音問題は継続しているので、市は警察と連携し、情報収集や啓発活動を行っている。さらに新設された防犯カメラの活用可能性を考慮し、警察への取り締まり強化要請を検討することを要望しました。



### ② 黒内小学校の夏休み中の児童クラブについて

！ 現在のところ夏休み中の受け入れ体制は整っているとの回答。また期間中、体育館には空調設備も完備されているので、体育館での活動を増やしてほしいと要望しました。

黒内小学校は過大規模校で、一人当たりのゆとりある場所の確保が課題となっています。夏休み期間中は、空調設備が完備された体育館を有効活用するためにも、のびのびと遊べる場所として解放することを要望しました。さらに児童クラブ利用者だけでなく、一般児童にも、夏休み期間中の子どもの活動場所として体育館の有効活用の検討も併せて要請しました。

### 黒内小学生を対象とした夏休み中の児童クラブについて

黒内小学校児童クラブは、夏休み中の児童クラブ利用希望が増えたため、受け入れ人数を今年度から定員を100人増やし定員420人とし、施設の拡充(中学校コミュニティルーム、図工室、家庭科室の利用)しました。

### ③ 守谷市子育て世帯訪問支援事業について

！ この事業は県内44市町村中12市町村が実施しています。補助金の負担割合は、国、県から3分の1ずつの補助金が交付されております。現在のところ利用者はいないとの回答ではあるが、この事業があることで救われる家族があるので今後とも事業の継続を要望しました。

守谷市子育て世帯訪問支援事業とは、改正児童福祉法に基づく事業で、家事や子育てに負担を抱えた家庭を支援し、虐待リスクの予防を目的としています。守谷市の状況:令和5年度と令和6年度(現時点まで)の利用はありませんでした。

しかしながら、この事業は利用者がいなくても存在すること自体が重要だと認識されています。困った時に助けを求められる選択肢があることが、子育て世帯にとって安心につながるという考えです。

## 守谷の未来を ともに創る

30年後も価値のある守谷を次世代に



渡辺 秀一

# 守谷市で自動運転バスは導入できるのか？

守谷市の近未来の公共交通を考え、県内で実証実験を行っている境町を視察してきました！

## 守谷市の課題

### 特にコロナ禍以降、公共交通が減便

「高齢者の方が免許を返納できない」「買物や通院などの日常生活が不便」「子どもの習い事の送迎をしなければならない」等、生活の足となる公共交通への不安・不満を抱えている

## 課題解決のために

### 堺町の自動運転バスに試乗

守谷市の交通課題にどのように貢献できるかを検討するため、時速 20km で走行する“自動運転無料バス”の実証実験を視察してきました。

- 実際に試乗してみると時速 20 km は「遅い」という感覚はなく、十分生活の足として利用できる印象
- 気になる乗り心地は、有人ドライバーが運転している時と、さほど変わらない



## 工夫していると思った点

### バスの運用設計について

- 住民の協力により私有地をバスの停留所として活用
- 渋滞を避けるために短い間隔で待避所を予め整備
- 渋滞発生時、自動運転からオペレーターによる手動運転に切り替え安全性を確保（運行開始後まだ無事故）
- 運賃料金を無料にすることで、道路運送法の対象外となり二種免許を持たないドライバーでも運転可能に

### 住民サービスについて

- バスの運賃を無償にすることで、利用率がアップ

## 守谷に導入したいと思ったこと

### 不足しているドライバーを確保する打開策

“自動運転無料バス”と“有人の無料運行バス”を併用する二刀流の導入により、公共交通の課題を解決します。

- 道路運送法適用対象外となる無料運行バス運営によりドライバーは二種免許が不要となり社会的に枯渇しているドライバー問題の解決に！

- “自動運転無料バス”の導入により現状の公共交通の問題が恒久的に解決するため、早期導入に向け検討する必要があります。



※画像はイメージとなります

## 導入した場合の費用について

### 堺町の革新的な運営方式を参考に

堺町では、ふるさと納税と国の補助金を活用し、持ち出しはゼロとなる運営方式でした。先進的な取り組みを参考に、守谷市もふるさと納税などの基金を活用し、一般財源の負担が最小限に抑えることが可能となります。

## 自動運転バスに関する近隣自治体の実験情報

- 境町を含め全国 10 自治体で実証実験を実施中
- 近隣では柏市が「柏の葉キャンパス駅⇄東京大学 柏の葉キャンパス」で実験中
- 柏市の実証実験では時速 35 km で運行、もし実用化されれば守谷市内の国道294号線やふれあい道路もルートに入れた路線を作ることが可能に

## プロフィール

守谷市議会議員（2012 年～）

株式会社ブリッジ 代表取締役

昭和47年1月8日（52歳） 守谷生まれ守谷育ち  
明治大学 専門職大学院ガバナンス研究科 修了  
趣味：食べ歩き、DIY、アメリカンBBQ、筋トレ

### がぶりメンチの生みの親

守谷市商工会商業部会の部長 守谷市のイベントでお馴染みのがぶりメンチ。2011年当時流行していた B 級グルメでまちおこしを目的に“守谷将門がぶりメンチ”をプロデュースしました。コロナ後の現在は、いつでも購入できる店舗での展開を目指しています。

